

2013/8/14

NMR共用プラットフォーム 利用課題の募集（平成25年度第1回）

理化学研究所 木川隆則

1. 概要

核磁気共鳴（NMR）法は、化学、材料・素材、食品・環境、生命科学等の広範な分野で必須の計測法です。近年は創薬、薬物代謝物動態、新世代電池の解析など、ライフイノベーションやグリーンイノベーションに直接つながる分野への利用も広がり、先端的な施設・設備や技術に対する利用ニーズが高まっています。更に、高磁場化や高感度化などの技術的発展、機器開発とそれに基づくユーザーニーズの拡大の余地は依然大きく、今後の発展が更に期待される技術領域です。

先端的な NMR 施設と技術を有する共用事業推進3機関、独立行政法人理化学研究所、横浜市立大学、大阪大学（以下「3機関」という）は、強固に連携した「NMR 共用プラットフォーム」を構築し、最先端技術開発の動向を踏まえた研究開発と人材育成を支える取組を、他の施設との連携協力関係を築きながら全国的な取り組みへと発展させ NMR 技術領域の利用と発展を先導するとともに、最先端技術開発の基盤を作り、ユーザーニーズを的確に反映させた技術開発に資する存在となることを目指します。

具体的には、3機関による運営委員会を設置して NMR 利用サービスの検討を行うほか、利用者と技術開発者の意見を反映した最先端技術開発課題の検討・抽出、最先端技術開発の促進、産学連携利用の拡大、および機関間連携を推進するための「特定課題利用」枠の設定、NMR 技術領域における産学官連携研究を推進する人材の育成などに取り組みます。

なお、この取り組みは、文部科学省「先端研究基盤共用・プラットフォーム形成事業」【取組2】「共用プラットフォームの形成」の支援を受け実施しています。

2. 特定課題利用

NMR 共用プラットフォームを活用した研究連携を推進する複数機関にまたがる利用や、NMR 技術領域の技術開発を目的とした利用など、今後のプラットフォームの拡大発展に寄与する課題を推進する「特定課題利用」枠を設定し、該当する利用課題を募集します。

3. 募集期間

平成 25 年 8 月 5 日から平成 25 年 8 月 23 日まで

4. 応募方法その他詳細

<http://www.ynmr.riken.jp/platform.html>

をご覧ください。

5. 問い合わせ先

複数機関に関するお問い合わせ

- NMR 共用プラットフォーム
nmrpfkaihou@riken.jp

各機関へのお問い合わせ

- 独立行政法人 理化学研究所 横浜キャンパス ライフサイエンス技術基盤研究センター
NMR 施設開放担当
ynmrpf@riken.jp
- 公立大学法人 横浜市立大学 研究推進課
kenkyu@yokohama-cu.ac.jp
- 国立大学法人 大阪大学 蛋白質研究所 機能構造計測研究室 先端核磁気共鳴装置群
nmrkaihou@protein.osaka-u.ac.jp